

丸亀城下町の歴史と景観から考える“地域らしさ”

日時 ● 2021年9月18日(土) 14時～17時

場所 ● オンライン開催

参加 ● 無料 (参加申込が必要です)

シンポジウム

活動報告と

意見交換会

Covid19以降、様々な価値観が変化し、地方都市や日常の暮らしが見直される今、見えにくくなった「地域らしさ」を改めて確認し考える機会として、このシンポジウムを開催します。地域らしさは、見慣れた日常のなかにあると考えています。城下町の町割りがほぼ築城時の形で残る丸亀中心市街地には、江戸後期から戦前昭和の建物など様々な時代の痕跡や時間の蓄積がつくる景観を見ることができます。地域の未来を考える資源は地域のなかにあります。歴史は現在であり見慣れた日常の景観に現れています。丸亀城下町の歴史と景観から、このまちの「地域らしさ」について一緒に考えます。

シンポジウムは、都市環境デザイン会議の全国大会として開催します。丸亀市を会場に、全国で活躍する都市デザインの専門家とオンラインでつながり、会場の報告者や参加者の方々と意見交換を行います。

第1部

まちの現状と活動の報告

らしさに気づく、らしさを生かす

報告者：中俣 保志／香川短期大学
(敬称略) 幸家 大郎／幸家大郎建築研究所
大西 泰弘／田園都市設計

第2部

意見交換

丸亀城下町から考える「地域らしさ」

進行：中俣 保志／香川短期大学
登壇者：福田 忠昭／LOCAL&DESIGN
(敬称略) 湯川 致光／HYAKUSHO
竹崎 瑞季／美術館学芸員
幸家 大郎／幸家大郎建築研究所
大西 泰弘／田園都市設計



議論への理解を深めていただけるよう丸亀城下町を紹介するこちらの動画を事前にご覧ください
<http://www.field-museum-marugame.org/judi.html>



← 都市環境デザイン会議のホームページ

参加申込はこちら →
(Google forms)



主催 ● 都市環境デザイン会議 四国ブロック 後援 ● 丸亀市
問い合わせ・申込先 ● 丸亀市中府町四丁目2-27 田園都市設計内・大西 電話 0877-85-5126

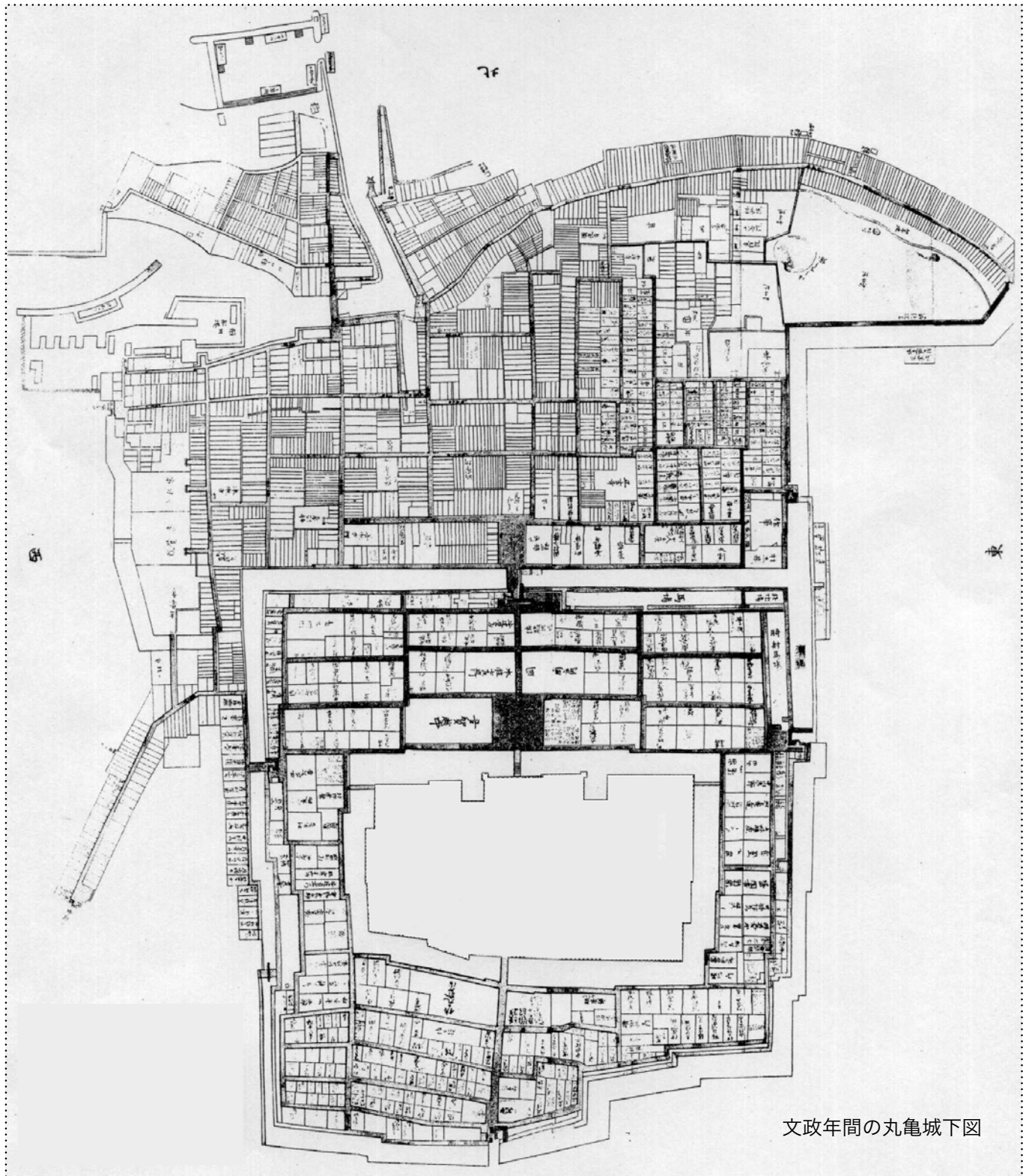
「本シンポジウムは都市計画CPD認定プログラムです」

・・・・・・（参考）丸亀城下町の成り立ち・・・・・・

【生駒家時代／1597～1640年】 今から420年ほど前の豊臣秀吉による四国統一の時代、高松城を本拠に讃岐を納めていた生駒氏が西讃岐の鎮めとして丸亀平野北部の亀山に丸亀城を築いた。

【山崎家・京極家時代／1641～1871年】 生駒家四代の後、山崎氏が藩主として迎えられる。山崎家時代は17年と短かったが、丸亀城を再築し、京極家に見る城下町の大半はこの時代にできあがった。山崎氏の後を受けた京極家の時代（1658年～）社会は安定し経済も発展した。丸亀城下町は港町として栄え、臨海部にも城下町は広がり現在の城下町のかたちが完成された。

【明治～昭和戦前／1868～1945年】 明治期になると、琴平～高松間に鉄道が開通、城内の侍屋敷には陸軍が置かれ、終戦まで丸亀城下町は軍都として栄える。軍隊があつた城内は戦後、公共施設が集まる整然としたまちになったが、城下町は江戸期の町割りをほぼそのままに、建築は緩やかに更新しながら現在に至る。



文政年間の丸亀城下図